



もえぎ



青年部機関紙第 36 号

2016 年 10 月 24 日発行

編集・発行 全道庁上川総支部青年部

複雑化する人事評価制度...労働意欲を高めるためにも 人事評価制度への理解を深めよう！！



【～学習会の様子～】

9月21日(水)上川総支部会議室(振興局4階)で人事評価制度学習会(賃金学習会)を開催しました。

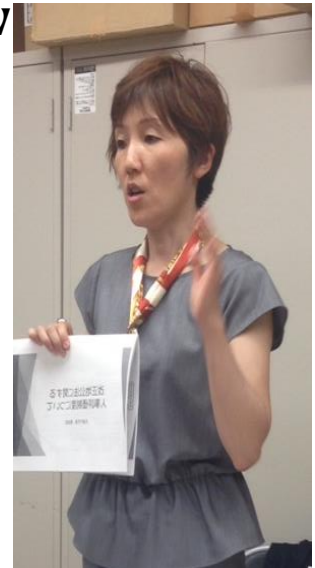
開催にあたり、佐藤青年部長からは「人事評価制度を理解しているか」「この制度によって、私たちの働き方はどうなるのか」「みんながいちばん気になる生活や娯楽に欠かせない賃金に、この制度がどのような影響を与えるのかを、今回の学習会を通じて少しでも学んでくれたら」と話されていました。

今回の学習会では、全道庁労連本部から佐藤賃金部長を講師として招き、講演をいただきました。人事評価制度というものをもまだよく理解できていない私たちに向けて佐藤賃金部長からは「人事評価制度とは何か」「現行制度と新制度の変更箇所」「個人の業務遂行状況の良し悪しがどのような形で昇給や昇任に反映され、賃金に影響していくのか」を説明してくださいました。

【講演される佐藤賃金部長】

～賃金について～

民間企業と比較しても道職員の若年層の給与水準は未だに低いのが実態です。公務職場の性質を踏まえ、職員間の格差が広がらないよう組合が積極的に関与し、組合員の給与改善となるよう交渉・協議を行っていきます。



【～参加者の様子】



～『参加者の感想』～

- ☆仕事へのやる気につながると思った。
- ☆公務貢献という項目を初めて知った。
- ☆A評価やB評価の上位判定を受けた人達の働きぶりを知りたいと思った。
- ☆制度について継続して学習していかないと頭に入らないと思った。